

令和5年度

秦野市立渋沢小学校  
令和5年9月22日  
第5号  
Tel 88-7066



# 渋沢つうしん

## 《6年生 日光修学旅行》

9月6日(水)7日(木)の2日間、6年生は栃木県日光市へ修学旅行に行きました。台風の影響で天候の心配がありましたが、一日目の東照宮以外は雨に降られることはなく、ほぼ予定通りでした。修学旅行の目的は、「地理・歴史への興味関心を深める」、「仲間とのふれあいを深め小学校生活の思い出とする」、「公共の場でのマナーを意識しながら行動する」、「主体的に判断し行動する態度を養う」などです。今年の6年生は「主体的に～」を特に意識をして行動していました。まず、学年全体で集合した際に、話を聴くことができる状態になるまでの時間が短かったです。「話があるよ」と子ども同士で声を掛け合う姿も見られました。また、宿泊先での食事や買い物、入浴などのスケジュールをしおりで確認しながら自分たちで行動していました。そして、日光駅で行った解散式では修学旅行の感想を述べる場面がありましたが、発表者は決まっていなかったため、その場で発表者を募ったところ、数名が感想を述べていました。学年全体を前に一人で発表するのは緊張したと思いますが、主体的な行動がとても立派で感心しました。

修学旅行後の感想で「普段あまりしゃべらない人ともしゃべることができて、楽しかったし、みんなの知らない一面が見れて面白かったです」「修学旅行で学んだことをこれから活かして残り少ない学校生活を楽みたいです」などがありました。仲間とともに過ごす時間が、子どもたちの成長につながっていることがわかります。

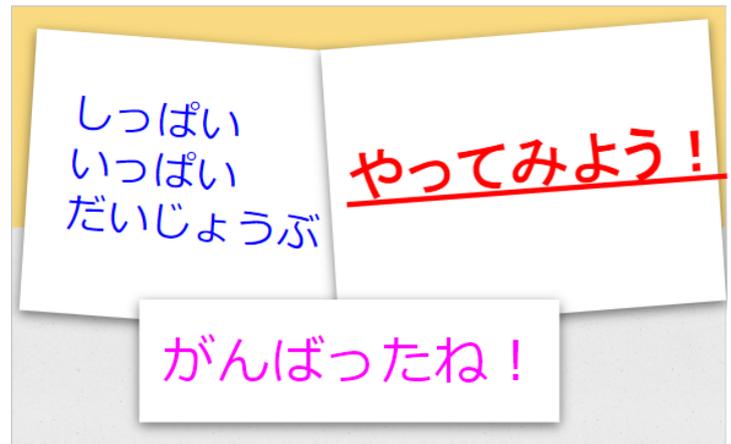


## 《「やってみよう！」の話》

8月29日（火）2学期の始業式で校長から以下のようなお話をしました。

その時に開催していたバスケットボールワールドカップの話題に続いて、「今のバスケット日本代表はチームとしてチャレンジすることをみんなで決め、繰り返し挑戦しています。失敗、いっぱい、でもだいじょうです。またチャレンジすればいいのです。失敗することは悪いことではありません。大切なのは、やってみようという気持ちです。成功した、失敗したはそれほど大切なことではなく、やってみることが重要なことなのです。これは校長先生のような大人にも言えることですが、皆さんのようにぐんぐん成長する時期にはとても効果的です。渋沢小のみなさんにはぜひ「やってみよう」を増やしてほしいなと思います。そして、学校で、クラスで、やってみようというお友達の姿が見られたら、ぜひほめたり、はげましたりしてあげましょう。「がんばったね」「ナイスチャレンジ」「オッケー」。このような言葉には魔法のような力があって、もし今回はちょっと失敗しちゃったなというときにも、よまた頑張ってみよう、という気持ちを生み出すことができます。ぜひ、2学期はこの「やってみよう」が増えるように、みんなで一緒に取り組みましょう。」

1年間の3つの学期の中で一番長い2学期。様々な学び、行事、活動がありますが、子どもたちには積極的に行動することで多くのことを身につけてほしいなと思います。子どもたちが「やってみよう！」と一歩踏み出せるように、ご家庭でもそっとひと押ししていただけると幸いです。



## 《間伐材を利用した鉛筆》

先日、NPO法人「水源の森林づくり推進の会」の方々より、間伐材を利用した鉛筆を児童数分寄贈していただきました。

森林で樹木が成長すると、混みすぎてしまうので一定の間隔を保つように間引きを行います。この作業を間伐といい、間伐を行うことで、植物の育成につながり、土壌が豊かになり、木がしっかりと根を張ることによって土砂災害の緩和にもつながります。このように、間伐は森林の健全な成長を促し、生態系を維持するために欠かせない重要な作業といえます。



そして、この作業で切られた木を間伐材と言います。今回寄贈された鉛筆は、この間伐材を利用したものです。環境や生態系を保全するためとはいえ、そのままにすれば廃材となってしまうものを有効利用しており、SDGsな取り組みと言えます。また小学校で学ぶ、理科、社会、総合的な学習につながるところがあります。学校で学んだこと、生活の中で学んだこと、それぞれが繋がって子どもたちにとって豊かな学びになって欲しいものです。